

真宗佛光寺派
大阪教区・
別院だより

大悲

第42号
令和3年(2021年)
7月1日 発行



地底の太陽（吹田市・太陽の塔の内部）

眼科検診に行つたある日のこと。「近視はやや改善されていますが、老眼は一段階進んでいます」と告げられて、これまで遠くに眺めていた「古い」が、身近になつてきましたことを実感させられました。

「古い」は何かが「できなくなつた」という意識をきっかけに私たちの人生に浮上してきます。字が見えにくくなつた、忘れっぽくなつた、長い距離が歩けなくなつた、無理ができなくなつたというふうに。

そして現代社会にあつては「できなくなつた」という意識は、苛むように人を襲います。こんな私でもここにいていいのだろうか、年老いて自分はお荷物でしかないのでは……と。

「ただ一人の誰とも代われない人間として、何の条件もつけることなく、このいのちのままに尊い」と説かれたお釈迦さまのお言葉は「できる」ではなく、ただ「いる」というそれだけで価値が認められるような「いのち」の光景として響いてきます。（佐々木太一）



ひがん 岸彼到う

私はいつも正義のつもり

西光寺 寿栄松正顕
すえまつ しょうけん

勝者と敗者

私がPTAの会長を務めさせていた
だいていたときの話です。PTAに入会
しないというご家庭がありました。任
意団体である以上、選択は自由なはず
です。しかしPTA会長という立場上、
非入会を認めたくないという話し合い
の中で引くに引けない状態になります
た。後で知ることになるのですが、相
手の方は学校やPTAに対して自分の
不満を言い過ぎた結果、引き下がれな
くなり拒否していたそうです。

お念佛の教えには勝者も敗者もいま
せん。勝ちも負けも無い世界、すなわ
ち苦悩を超えた世界を浄土といい、勝
ち負けにこだわっていく世界を娑婆と
いいます。苦悩する娑婆世界の私たち
を親鸞聖人は『教行信証』の総序に「苦
惱の群萌」と表され、それを救うこと
が仏さまのはたらきなのだと示してく
ださっています。

やなせさんの言葉を通して、PTAでの
体験で私自身が勝ち負けにこだわる「苦
惱の群萌」だと気づかされました。

やなせさんの言葉を通して、PTAでの
体験で私自身が勝ち負けにこだわる「苦
惱の群萌」だと気づかされました。

(令和3年7月)

「正義のための戦いなんてどこにもな
いのだ。正義はある日、突然逆転する」。
アンパンマンの作者であるやなせたか
しさんが生前、テレビ出演されたとき
にこの言葉に出合いました。やなせさ
んは太平洋戦争を経験され、ご兄弟を
亡くされました。国から、正義のため
の戦争だと言われ、命を惜しむことな
く戦い、敗戦を機に正義についてご自
身の基本的な考え方をお話しされました。

仏と出遇う

どこまで行つても私たちにとつて勝



如是我聞

大丈夫 道はあります

京都教区 大行寺 佐竹英里子 師



(撮影 四方さつき)

本山佛光寺のホームページ
内で法話を聞くことのできる

くのが法話です、とおっしゃ
いました。

「佛光寺チャンネル」より、佐
竹英里子師の法話を聴聞させ
ていただきました。

本願力に遇う

力に渡り七転八倒の十年、そ
して縁あつて帰国されて十年、

現在住職を継職された佐竹師
です。（近著に『お見合い35回

佐竹師は親鸞聖人のご和讃
を引用され、「本願力すなわち

阿弥陀さまのはたらきに出遇
うことことができたなら、いただ

佛教とは、お釈迦さまが、

人生思い悩み行き詰まること
はあつても、その悩み迷いを

超えていく道があるとあきら

かにしてくださいた「教え」

「法」のことです。その「教え」
に私が出遇うことで私自身が

どうなるのかと問い合わせてい
る地を求め、家出してアメリ

に私が出遇うことで私自身が

おかげた環境がいやで安住
逃げ出したかつたこの場所が

毎日過ごす中で、私にとつて
の居場所になつた」「私の想い
は行き詰まつても、私の想い
描いた道からは踏み外しても、
道はあるとお釈迦さまがあき
らかにされた教え」と出遇わ
れた歓びを「阿弥陀さまのは
たらきによつて、空しさから
解放された」とお話しになり

ました。また、

人生に無駄はない

当初は行き詰まつたと思わ
れていた人生が、お釈迦さま
があきらかにしてくださつた
道に出遇われたその歓びが伝
わつてきました。

過去のすべての出来事は、
今のご自身の歩みにつながる
道であり、人生には無駄な出
来事はないと聞かせていただ
きました。

（長田 譲 記）

おおさか そうへいきょく 大阪造幣局

大阪探検



造幣博物館



泉布観



大塩平八郎邸宅の門屋レプリカ

【アクセス】

- ・大阪メトロ堺筋線「南森町駅」、谷町線「天満橋駅」、京阪「京橋駅」「天満橋駅」から、徒歩約15分。

「大阪造幣局」といえば日本さくら名所百選にも選定され、構内に植えられている134品種338本の八重桜の開花に合わせて毎年公開される「桜の通り抜け」が有名です。その桜のトンネルの途中にある「造幣博物館」（入館無料）をご存じでしょうか。

「造幣博物館」では日本のお金の歴史を見学することができます。貨幣偽造防止の技術や隠された職人技など意外と知らない事実が多く、新しい発見があります。

今年で創業150周年！

造幣博物館は、明治44（1911）年に造幣局の火力発電所として建てられました。造幣工場も見学用の廊下があり、ガイドの説明を聞きながら見学できます。

また、造幣局敷地内外には「大塩平八郎の乱」に関わる史跡があり、国道一号線を挟んで北側には大阪に現存する最古の洋風建築の「泉布観」があります。貨幣に興味がある人、歴史的建造物に興味がある人が散策するにはぴったりの場所です。

（葦名 彰）

ごえんさんを訪ねて

こうしょうじ
高照寺（堺市北区）隅谷俊紀 住職



隅谷住職は2002年、高照寺住職を継職されました。

お寺を子どもたちが集まる場所にしたいとの思いから、2008年に小学生の集い「寺子屋くらぶ」をスタートさせ、盛りだくさんの行事をしています。

コロナ禍でも

各種法要や、法話会「聞法の集い」に加えて、落語会も開催されるなど、活発に活動をされ、またコロナ禍であっても、聞法道場としての門戸をひらくため、法座をユーチューブでライブ配信されています。

最近では「寺子屋ががく教室」や、中学生の学習会「寺子屋すたでい」も開催し、地域に溶け込んだ活動も盛んです。

活発な活動をする原動力は「誰もが立ち寄りやすく、親しみやすく、賑やかなお寺にしたい」という住職



コロナ禍での「寺子屋くらぶ」の様子

顔を合わせて

最後に「コロナ禍で、昨年の3ヶ月は行事ごとが何もできず、ストレスのたまる日々でした。普通に行事ができることのありがたさを痛感しました。それ以降は、感染症対策を講じた上で開催しています。皆が一堂に会し、賑やかに行事が開催できることをただただ願うばかりです」とおっしゃっていました。

（玉田宗順）

そんな忙しい日々の中、昨年来からのお課はウォーキングとスポーツジム通いとか。密を避けるため、毎日午前4時すぎには家を出ているとのこと。健康のため？それともお酒を美味しく頂戴するため？

2003年から高照寺寺報『高照寺ねっと』を毎月発刊し、2018年には寺報の法話をまとめた『おじゅつさんのおはなし』『住職うなづき法語法話』を出版されました。

また2006年より本山佛光寺の伝道誌『ともしひ』の編集委員としても活躍中です。

■ 高照寺(こうしょうじ)

〒591-8011
堺市北区南花田町1644
電話 072-252-2122
Fax 072-252-2230

大悲トピックス

■大阪別院「紙本着色出山釈迦像」

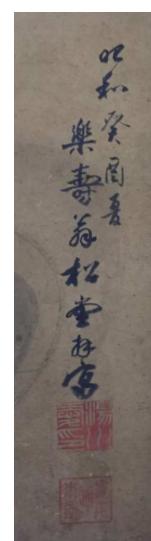
佛光寺大阪別院本堂の後門、本尊阿弥陀如來の背中合わせにお釈迦さまの姿が描かれてあります。落款には、「昭和癸酉夏 楽壽藤松堂揮写」と書かれてあり、大阪市教育委員会の大坂市文化財総合調査報告書『大阪市内所蔵の真宗関係資料』によると、昭和8(1933)年に湯川松堂が描いたものであるといふことが記されています。

昭和37(1962)年5月に大阪別院が船場(中央区平野町3丁目)から今の住吉区苅田町に移転したとき、この釈迦像も内陣のお莊嚴とともに移設されました。

湯川松堂は、慶応4(1868)年和歌山生まれで明治中期の美術界を指導し開拓した第一人者です。とくに皇室



描かれたお釈迦さまの身長(高さ)は約2メートル



落款

屏風絵や明治神宮に奉納する画を描くなど活躍しました。昭和30(1955)年に大阪府八尾市で87年の生涯を閉じるまで大阪を中心で活躍した著名な画家です。

(大阪別院輪番 葦名 彰)

■懇志御礼

岡山県真庭市 正覚寺様
滋賀県近江八幡市 正覚寺様

御本山 近用達
株式会社 川勝法衣店
フリーダイヤル 0120-075-055
(〒600-8344) 京都市下京区花屋町通油小路東入
電話(075)371-0367(代)
FAX(075)371-5088

本山佛光寺 御用達
石の総合メーカー
株式会社 石留石材
ホームページ
<http://www.ishitome.co.jp>
本社:京都市中京区堀川御池角
TEL 075-841-1149 FAX 075-812-5826

- 大正三年創業の信頼と実績 -
△ 石留石材株式会社
各種石塔・石仏・記念碑
寺社建築石材まで
ご相談は下記フリーダイヤルへ 携帯PHS OK
0120-53-5578
[本社・工場・展示場] 藤井寺市津堂2丁目9番29号

浜屋は関西最大級の
お仏壇・お仏具・墓石・御寺院お仏具の
専門店です。
やすらぎの
世界を創る
浜屋
お問い合わせ
お申し込みは
0120-1616-94
●受付時間/午前10時~午後6時30分

人工芝施工・内外装工事・サイン・ディスプレイ・テント
kyowa
協和産商株式会社
<https://www.kyowa-ss.co.jp/>
本社:大阪市東住吉区今川18-1-14
TEL:06-6702-5722 FAX:06-6702-5732

お墓なんでも相談センター
とわ おも かたち かえ
永遠の想いを像に還るお手伝い
ヨシザワ
株式会社吉澤石材工業所
シキュー イシヤニ
フリー ダイヤル
0120-49-1482

だいひ 絵日記

4月14日(水) 大悲の会編集会議（第42号読み合わせ）（オンライン会議）
5月11日(火) 大悲の会編集会議（第42号読み合わせ）（オンライン会議）
5月22日(土) 佛青懇和会総会①
5月26日(水) 大悲の会編集会議（第42号読み合わせ）（オンライン会議）②
6月25日(金) 大悲の会編集会議（第42号発送作業・第43号内容検討）

大阪教区総会（中止）
法友会総会（中止）
さつき会総会（中止）

(法友会=住職会、さつき会=坊守会、佛青懇和会=青年会)



■誌面広告募集

企業・団体・寺院の広告を誌面に掲載させていただきます。
1区画(55mm×40mm)、掲載1回につき5,000円です。

創業安政3年
京 佛 具 調 進

森田屋

福野御佛具處

〒601-8424

京都市南区西九条猪熊通九条上る
tel. fax 075-691-8423

和奏の会 翠笛会

寺院のイベントに邦楽(尺八・筝)出張演奏いたします。
曲目はリクエストできます。
事務局:阪南市新町 宝林寺
電話 072-472-1414
<http://homepage2.nifty.com/suiteki/>

協賛

佛青懇和会

大阪教区の青年会
(会長:門川崇志)

協賛

さつき会

大阪教区の坊守会
(会長:木村愛子)

協賛

法友会

大阪教区の住職会
(会長:佐々木太一)



どなた様でもお参りいただけます

法要・法話会のご案内



大阪別院盂蘭盆会

8月13日（金）午後2時
8月14日（土）午後2時
8月15日（日）午後2時

大阪別院彼岸会

9月20日（月・祝）午後2時
法話：隅谷俊紀師（高照寺）
9月23日（木・祝）午後2時
法話：葦名彰師（妙圓寺）
9月26日（日）午後2時
法話：玉出宗順師（光福寺）

大阪教区寺院で開催される法話会

◎常光寺（大阪市淀川区・06-6391-5319）
7月3日（土）～5日（月）
「紫陽聞信会」午前9時半、午後1時
3日 法話：直林不退師
4日 法話：西田眞因師
5日 法話：一樂真師

紫陽聞信会（しうもんしんかい）とは

昭和51年、長年本山佛光寺の教学を指導されてきた藤谷秀道師は、晩年閑居しておられた滋賀県米原の草庵に、熊本県玉名をはじめ熱心なお同行を招き聞信会を開催されました。小さな庵は、お念佛の教えを聞く人々の活気が満ち満ちて、まさにサンガとなり、この聞信会は、その庵に咲く紫陽花の花にちなんで、紫陽聞信会と名づけられました。5回目から、その聞信会の会所を常光寺が引き継ぎ、今年で45回目になります。

本年は感染症対策としてオンライン会議アプリのZoomを使ってライブ配信させていただきます。ご視聴いただくためのミーティングIDならびにパスコードは下記の通りです。また右のQRコードからもご視聴いただけます。

ミーティングID: 791 870 4869
パスコード: RQ78SY



編集秘話

緊急事態宣言下、密にならないように人と接する日々。リモートワークなどの新生活にも、対応できるようになってきた。新たな常識がうまれる中、私たちの歩みは対面でのコミュニケーション。それぞれの記事を読みながら、人と人が接することの大切さを改めて思わされ、以前の生活が取り戻されることを望む。(寿栄松)

編集後記

3回目の緊急事態宣言下、大阪では「イベントの無観客開催の要請」が出されていましたので、うちのお寺での法話会は「ユーチューブによるライブ配信のみ」で開催しました。実際にしゃべってみると、話しにくいこと……。いつも聞き、うなずいてくださるご門徒の皆さんのがたさをあらためて感じました。(隅谷)

大阪教区・別院だより『大悲』 第42号（夏号）
令和3年(2021年)7月1日発行（発行部数2200部）
発行：大悲の会
事務所：佛光寺大阪別院内
〒558-0011 大阪市住吉区苅田6-11-24 電話 06-6691-1362
郵便振替口座：口座番号「00990-4-305218」加入者名「大悲の会」
大悲ホームページ <http://daihi.org/>

大悲の会
長田 譲（会長） 佐々木太一
隅谷俊紀（副会長） 葦名 彰
寿栄松正顕（会計）
玉出宗順（会計）
門川崇志（監事）